

立川市立若葉台小学校

学校だより

令和4年3月1日発行

校長 井土 満
〒190-0001
立川市若葉町1-13-1
TEL 042-536-3971
FAX 042-534-6943
HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es21/>



坊主頭の由来

いづち みつる
校長 井土 満

数日前、ウクライナやキエフという馴染みの薄い遠くの地名が出てくる戦争のニュースを聞いているなかで、知っている地名が突然飛び出してビックリしました。それはウクライナの北部にある「チェルノブイリ」です。今から36年前、私が教員になった1986年4月に旧ソビエトのチェルノブイリ原子力発電所で事故が起きました。そのときも、ずいぶん遠い国のことだと思っていましたが、1週間後に事故で出た核物質が日本にまで飛散したと聞き、驚くと同時に大きな事故であったことや地球はつながっていることを実感したものです。

当時、勤めていた立川九中では全校で「平和学習」が盛んにおこなわれていて（背景は、いろいろとあったのですが・・・）、学活の時間などで立川や東京の空襲、広島や長崎の原爆投下などをテーマに調べ学習をおこない、その仕上げが修学旅行での広島訪問でした。平和学習の中で、チェルノブイリの事故を調べて発表する生徒もいました。当時の日本政府は「日本の原子炉はアメリカ型だから同様の事故は起きない」と、不安の増す国民に説明をしました。しかし、実際には1979年のアメリカ・スリーマイル島原子力発電所事故でもメルトダウン事故は起きていましたし、東日本大震災による福島第一原子力発電所事故は、皆さんもご存じのとおりです。人間の作ったものに、完璧はないということです。

先日のニュースは、2000年に発電を終えたチェルノブイリ原子力発電所をロシア軍が占拠し、発電所の人たちを人質としたとの内容でした。チェルノブイリ原発で事故を起こした4号機は「石棺」と呼ばれるコンクリートで覆われ、さらに鋼鉄製のシェルターで防護されていて、今でも原発の半径30キロメートルは立ち入りが制限されているそうです。にもかかわらずそこに人がいたのは、原子炉を停止しても、それを長期間コントロールし続けなければならないという現実があるのと、そこにある残された核燃料が、いつでも核兵器に転用できるという事実があるからです。

核兵器と言えば、20数年前、パキスタンの日本人学校に勤めていたときのことで、隣国のインドが核実験をおこない、パキスタンはそれに対抗して、一か月後にやはり核実験をおこないました。インドとパキスタンは、1947年の独立後、3回も戦争をしていますので、そのまま両国が戦争になるかもしれない、互いの都市をミサイル攻撃するかもしれないということが、本気で心配されました。その時の「空襲されるかも」という、日夜問わず覆いかぶさってくるような恐怖感は今も忘れることができません。ウクライナからのニュースを見ると、映像には映らないけど、その映像の中から何万人もの人々の恐怖心が、あふれ出て見える気がしました。インドとパキスタンの核実験のやりっこに対して、世界で唯一の被爆国である日本の国民として、抗議の声を上げようかとの話が職員室内で出ましたが、日本人学校の教員がそういう声を上げたことで、学校の子供たちに万が一のことがあってはならないと、自重することになりました。その代わり、何らかの形で抗議の意志を示そうと言うことで、学校の教員と大使館の若手と日本人会の何人かが相談して、頭を丸めることにしたのです。それが、私の坊主頭の由来です。私自身の中では、核兵器を政治の道具とし、人々の命を脅かす核保有国、核大国への抗議は、あのときの忘れられない恐怖心とともに、未だに続いています。だから、今も坊主頭です。

核や原子力の問題は非常に微妙で、たとえば今パソコンに向かって、この文書を打っているこの電力も、その何割かは原子力発電によるものだし、日本の平和がかろうじて維持されてきたのも、アメリカの「核の傘」によるものなどの意見があることも十分承知しています。その上で、言いますが、やっぱり戦争はだめです。何万人もの命を一瞬にして奪う核兵器もだめです。

チェルノブイリは私の教員人生のスタートであり、子供たちと一緒に学んだ「平和学習」は、私の教員としての考え方に少なからず影響してきました。そして最後もチェルノブイリです。36年間に会った子供たちに、たくさんのお話を教えたり、語ったりしてきましたが、最後の最後に語るとすれば、「命を大切にしてください。」「その命をないがしろにする戦争はだめです。」ということに尽きる気がします。今は、その遠い国の戦争が、一日も早く終息することを願うばかりです。



2月21日 武蔵野美術大学と若葉台小
サポーターズと連携しての美術鑑賞教室

◆3月の行事予定

1日(火) 生け花体験(5年) 校外学習 古民家園(3年)	16日(水) 音楽朝会(5年発表)
2日(水) 6年生を送る会 キッズクラブ	21日(月) 春分の日
3日(木) 保護者会(5年)	22日(火) 音楽朝会 (本校吹奏楽部・合唱団) 給食最終日
4日(金) 保護者会(3・4年、たんぽぽ)	卒業式予行(6年)
5日(土) 土曜授業	23日(水) 大掃除
8日(火) 安全指導 保護者会(1・2年) スクールカウンセラー最終日	24日(木) 修了式 卒業式前日準備(5年)
9日(水) 集会 キッズクラブ最終日	25日(金) 卒業式
14日(月) 大掃除週間 卒業式会場準備(5年)	26日(土)～4月5日(火) 春季休業日
15日(火) 認知症サポーター養成講座(4年)	

【令和4年度 始業式】
4月6日(水)
8時～8時15分登校

3学期の避難訓練

3月の避難訓練は、1・2月に引き続き、児童自身で避難行動の約束を守って安全に避難できることを目的として実施するため、予告なしで行います。

【3月の生活目標】 学校をきれいにしよう～新しい学年にきれいにひきつごう～

◆お知らせ

3月の保護者会について

3月の保護者会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、体育館で行います。開始時刻は、先日配布したお便りに記載の通り、以下となります。

3月3日(木) 5年：14時45分～

3月4日(金) たんぽぽ：14時40分～、3年：14時45分～、4年：15時45分～

3月8日(火) 1年：14時45分～、2年：15時45分～

転出・転入及び住居等変更の情報がありましたらお知らせください

年度末及び新学期に向けて、転出や住居等変更がある場合には、3月14日(月)を目途にお知らせください。その後も、できるだけ早めに、事前に担任などにご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆子供たちの活動紹介

3月2日(水)、6年生を送る会を行いました。

5年生の代表委員会が司会を務め、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、全校で6年生を送る会を行いました。卒業する6年生は、1年生がプレゼントしたメダルを付け、会に臨みました。



5年生は、生け花体験で各学年、交互に体育館に来て生けた花を校舎の各場所に6年生に感謝の気持ちを伝えま飾りました。



各学年、交互に体育館に来て6年生に感謝の気持ちを伝えました。



6年生も、各学年の発表に聞き入っていました。そして、5年生に引継ぎを行いました。



体育館から出る6年生を在校生が歌声と拍手で見送りました。

新型コロナウイルス感染症に関わる連絡について

※休日、祝日の緊急連絡先

PCR検査及び抗原検査で本校児童に陽性が出た場合は、学校携帯に連絡をお願いします。

学校携帯：副校長 阿部 梢 (080-7163-6396) (9:00～15:00)